

『b e』の記事の具体的な活用例を示してみます。

・「フロントランナー」

フロントランナーとは、大辞泉（小学館）には「(競走で) 先頭を走る人。リードしている人。また、選挙などでの最有力候補」と出ています。『b e』のこのタイトルは、「それぞれの世界で最先端をいっている人、パイオニア、いま注目の人」というようなニュアンスで使われているのではないのでしょうか。ここに登場する人たちは、経営者や研究者、芸術家など多岐にわたっていますが、挫折や苦境を乗り越えて成功した人ばかりです。この2月2日は、〈途上国を支える雨水ビジネス 天水研究所代表 村瀬誠さん(63歳)〉でした。①村瀬さんは写真の中のどの人が②途上国とはどんな国か③雨水ビジネスとは具体的にどんなビジネス(商売)か④この写真の国はどこか⑤記事の中で一番心に残った部分はどこか、などを尋ねます。同じ青bの「逆風満帆」「はたらく気持ち」などを含めて、キャリア教育や人の生き方を考えさせる道德などの教材にもなるでしょう。

・「b e ランキング」

掲載されているランキングと同じアンケートを学級で実施し、結果を比較してみてももしろいです。今年1月26日は〈使ってみたい「ネガポ」な言い換え〉でしたが、否定的な言葉を肯定的に言い換える「ネガポ」を、子どもたちに作らせてもいいでしょう。

・「うたの旅人」

記者が、あるひとつの「うた」にまつわる土地を訪ねて書いた記事ですが、作詞者や作曲者、歌手などの人のつながりに光を当てています。ジャンルも、クラシックから流行歌、「ドラえもののうた」のようなアニメ主題歌や童謡など、幅広く取り上げています。音楽室にはっておくとよいでしょう。①タイトルの「うたの旅人」にはどのような意味が込められていると思うか②この歌ゆかりの地を訪ねてみよう、といった設問ができます。

(鈴木伸男 全国新聞教育研究協議会顧問)